

まの 人



クマ駆除要請に応じて集まった猟友会員

矢巾町猟友会

事務局長 ^た田 ^{むら}村 ^{みち}倫 ^こ子 さん (南昌)

クマも安心して 暮らせる森を未来へ

私は猟友会事務局長として、クマをはじめとする有害鳥獣対策に携わっています。普段はシルバー人材センターの職員として働きながら、クマの捕獲要請があれば、猟友会員の手配を行い、必要に応じて自らも現場に向かいます。猟友会員は皆、それぞれ本業を持つ町民です。急な要請に応じ活動できるのは、地域の安全を守ろうとする利他の心と、理解を示し送り出してくれる職場の支えがあるからです。

私は矢巾町をLINEで友だち登録し、クマの出没情報を随時受け取っていますが、正確で迅速な情報は大変心強いものです。町担当課では、寄せられる出没情報に昼夜を問わず対応されており、そのご苦労を肌で感じています。配属された課で一から鳥獣被害対策を学び、警察や猟友会の間に立って奔走する姿に、頭が下がる思いです。町民、警察、猟友会の間で揺れながらも、町民の安全安心のために尽力いただいていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年のクマの行動は例年と異なり、臆病なはずのクマが人を恐れず、住宅地まで降りてきています。被害を防ぐには、捕獲だけでなく、生態を知り、誘因となる果実や生ごみを放置しないなど、日々の心がけが欠かせません。一方で、クマとの共生に限界があり令和7年のような異常が新たな日常になる可能性が高く、過度な不安や分断を生まないよう冷静に向き合うことも大切だと感じています。

なぜクマが人里に現れるのか、その原因を皆で考え、取り除き、クマが山で安心して暮らせる環境を整える。そのための話し合いを、町全体で進めていければと思います。

あ と が き

議会として初めてとなる議会フォーラムを開催しました。報酬や定数の議論はもとより町民に開かれた議会を目指す議会改革の歩みが、少しずつ形になってきたと実感しています。これからも町民の皆様と対話を重ねながら、矢巾町の未来づくりに歩んでまいります。

編集委員 横澤 駿一

お詫びと訂正

やはば議会だより234号24ページで、所属職位に誤りがございました。

「矢巾わんわんパトロール隊員」ではなく「矢巾わんわんパトロール隊」でした。

謹んでお詫びし、訂正を申し上げます。

発行・編集責任者

議長 廣田 清実

編集委員

委員長 藤原 信悦
副委員長 山本 好章
委員 横澤 駿一
齊藤 勝浩
木村 豊